全国健康保険協会京都支部
統計年報
（平成30年度）

全国健康保険協会 京都支部
協会けんぽ

平成30年度　協会けんぽ京都支部概況

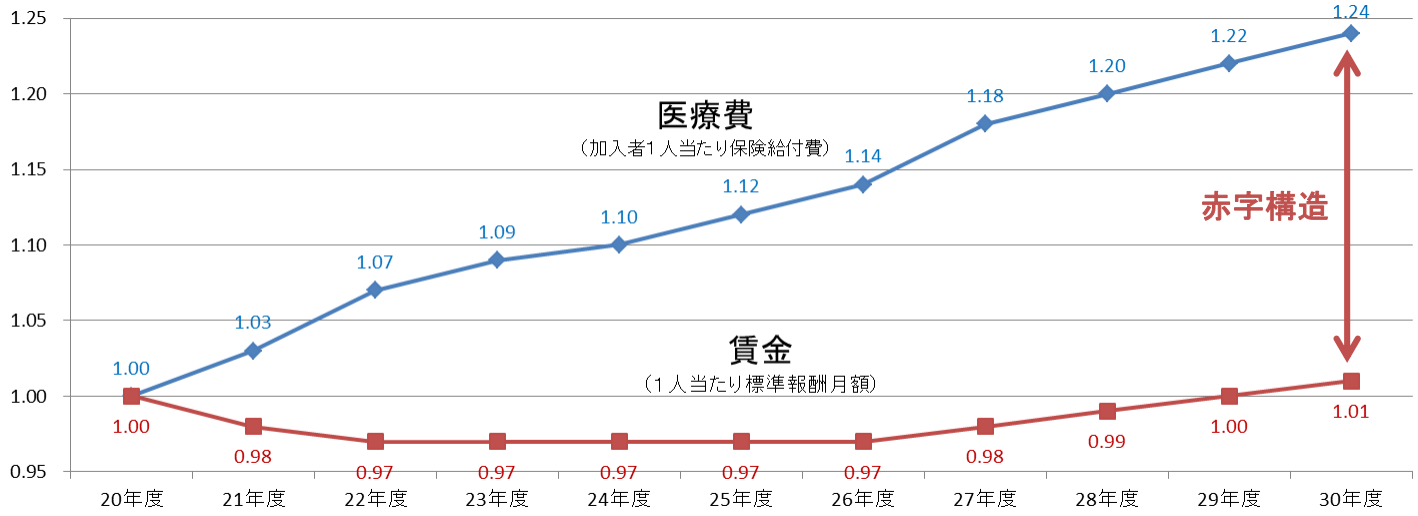
平成３０年度の健康保険料率は、全国平均が10.00％と据え置かれた一方で、京都支部では平成２９年度より０．０３ポイント高い、１０．０２％となりました。

これは都道府県ごとに医療費等の伸びが異なるためです。平成２１年９月以降、都道府県ごとに保険料率を設定していますが、それまでは全国統一の保険料率だったことから、保険料率の差が急激に広がらないよう、全国平均の保険料率と各都道府県の保険料率の差を圧縮する措置が取られています。この措置は令和元年度までのため、平成３０年度もそれに向けて、より医療費の都道府県間の差が反映される保険料率としていました。

京都支部においては、保険料収入のベースとなる平成３０年度の平均標準報酬月額は１．２％の増加となりました。
対して、支出の6割を占める保険給付費は、前年度比１．４％の増加（平成２９年度：１，３１７億６８００万円、平成３０年度：１，３３６億４００万円）となっており、医療費の伸びが賃金の伸びを上回る状況が続いています。

このように財政状況が厳しいなか、協会けんぽでは、保険料の上昇を抑えるため、健診・保健指導、レセプト点検の取り組みを強化するとともに、ジェネリック医薬品の使用促進など医療費適正化に取り組んでいます。

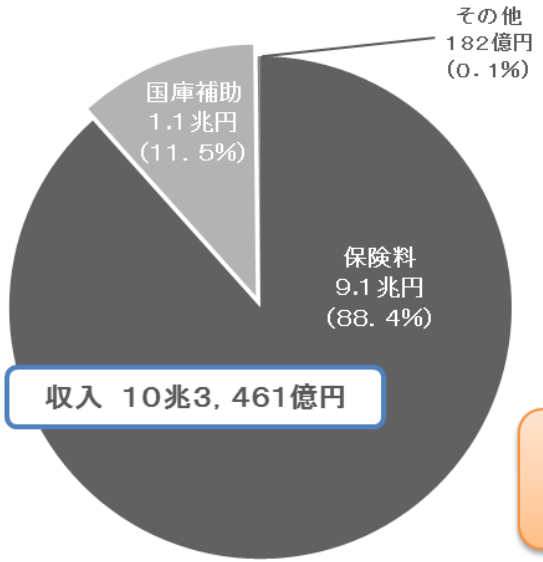
協会けんぽの保険財政の傾向（対平成20年度指数）

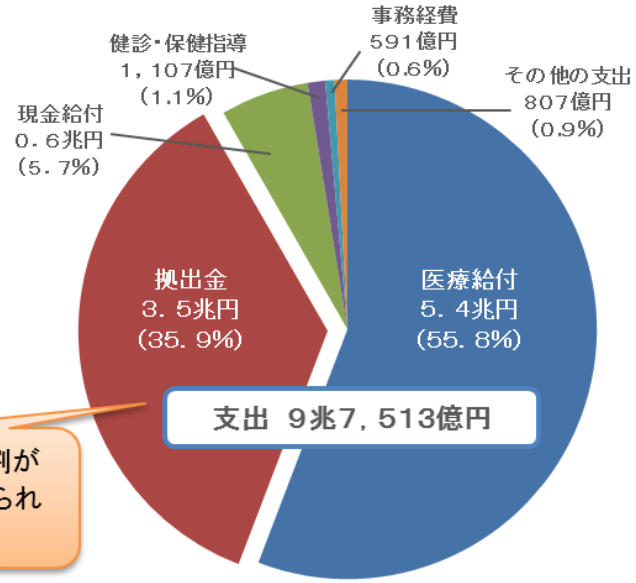


（注）数値は平成20年度を1とした場合の指数で表示したもの

協会けんぽの財政構造（平成30年度決算）

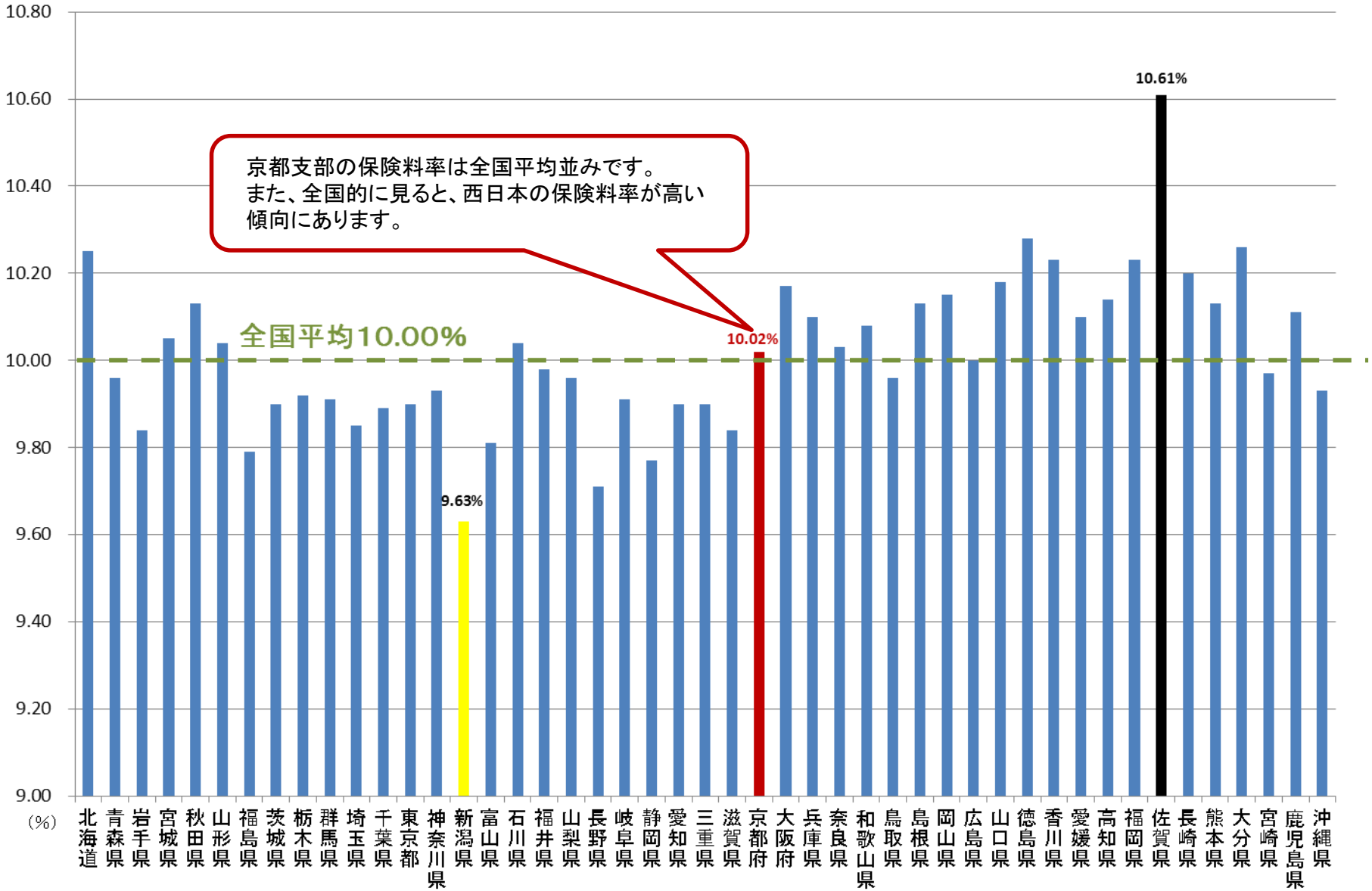
協会けんぽ全体の支出は約9．8兆円ですが、その約4割、約3兆5000億円が高齢者医療への拠出金に充てられています。





協会けんぽの支出の約4割が高齢者医療の負担に充てられています。

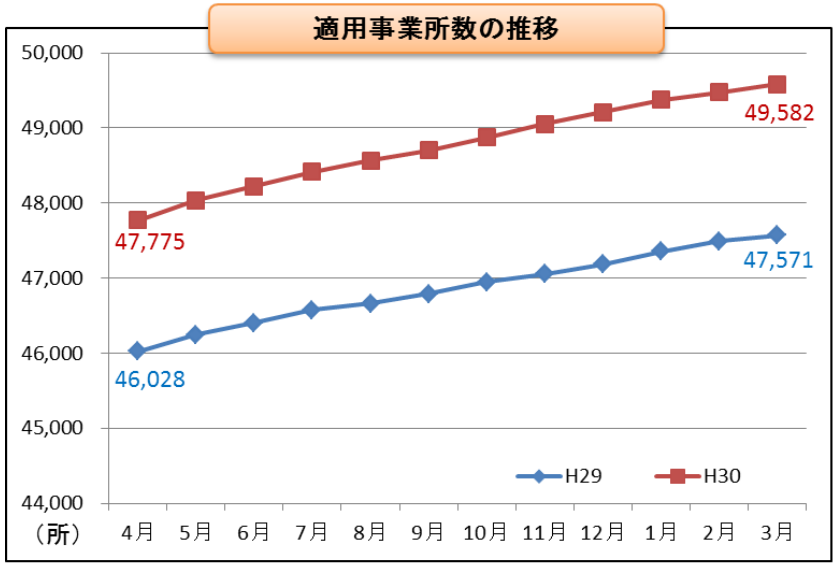
平成30年度の都道府県別の協会けんぽ保険料率

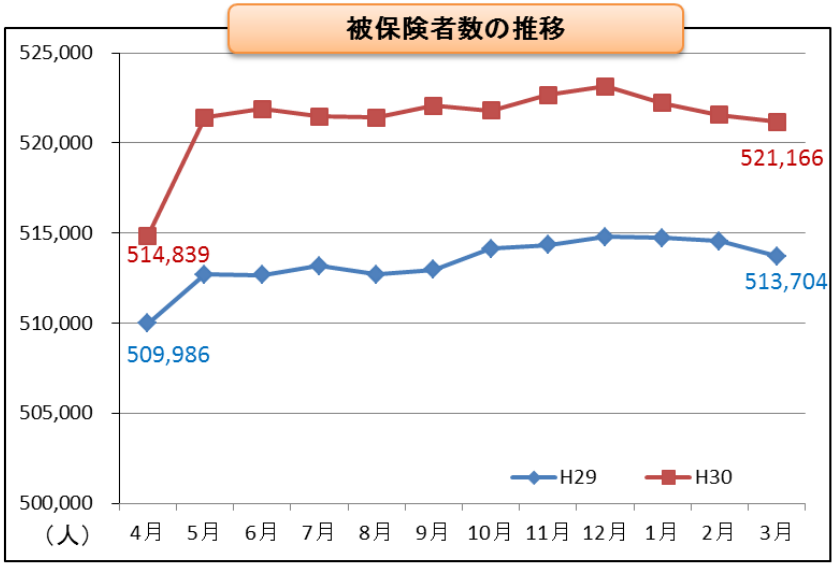


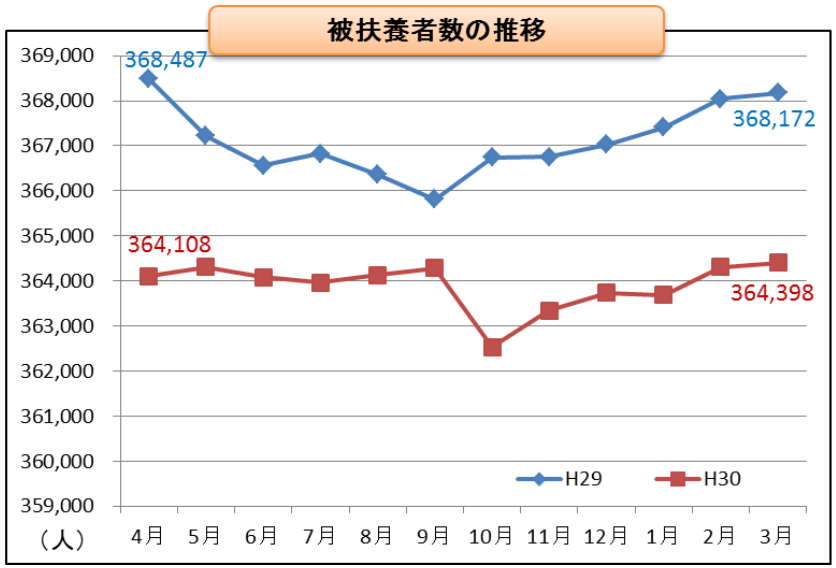
東日本平均9.92%	西日本平均10.12%

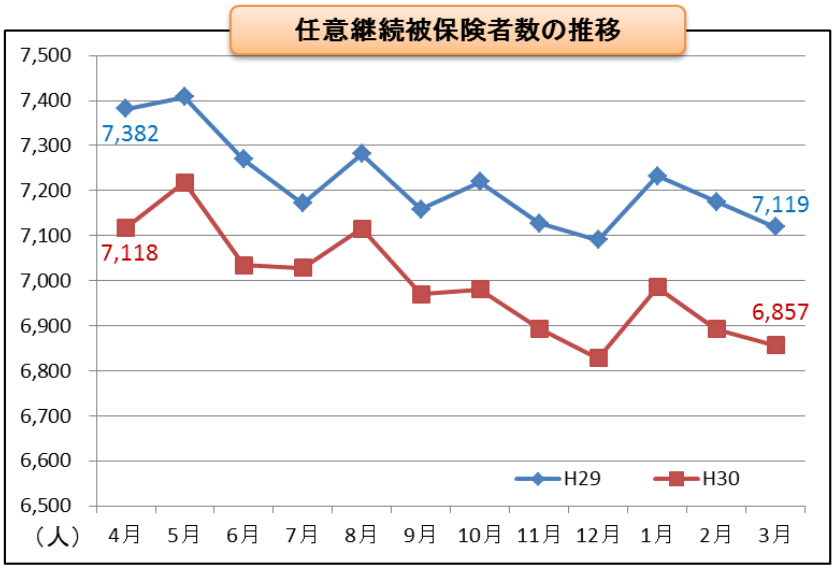
京都支部における適用事業所数・被保険者数・被扶養者数・任意継続被保険者数の状況（年度比較）

京都支部においては前年度に比べ、適用事業所数の増加に伴い、被保険者数が平成31年3月末で7,462人増加しました。一方、被扶養者数は3,774人、任意継続被保険者数は262人減少しました。





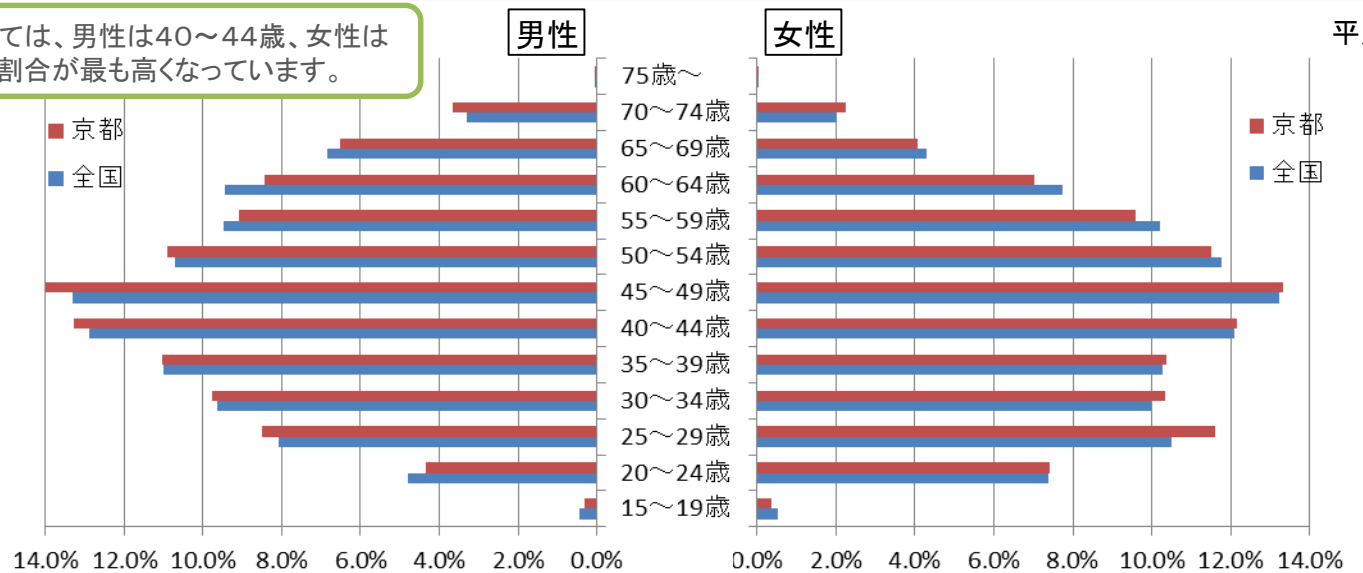




年齢階級別男女別被保険者割合（京都支部と全国の比較）

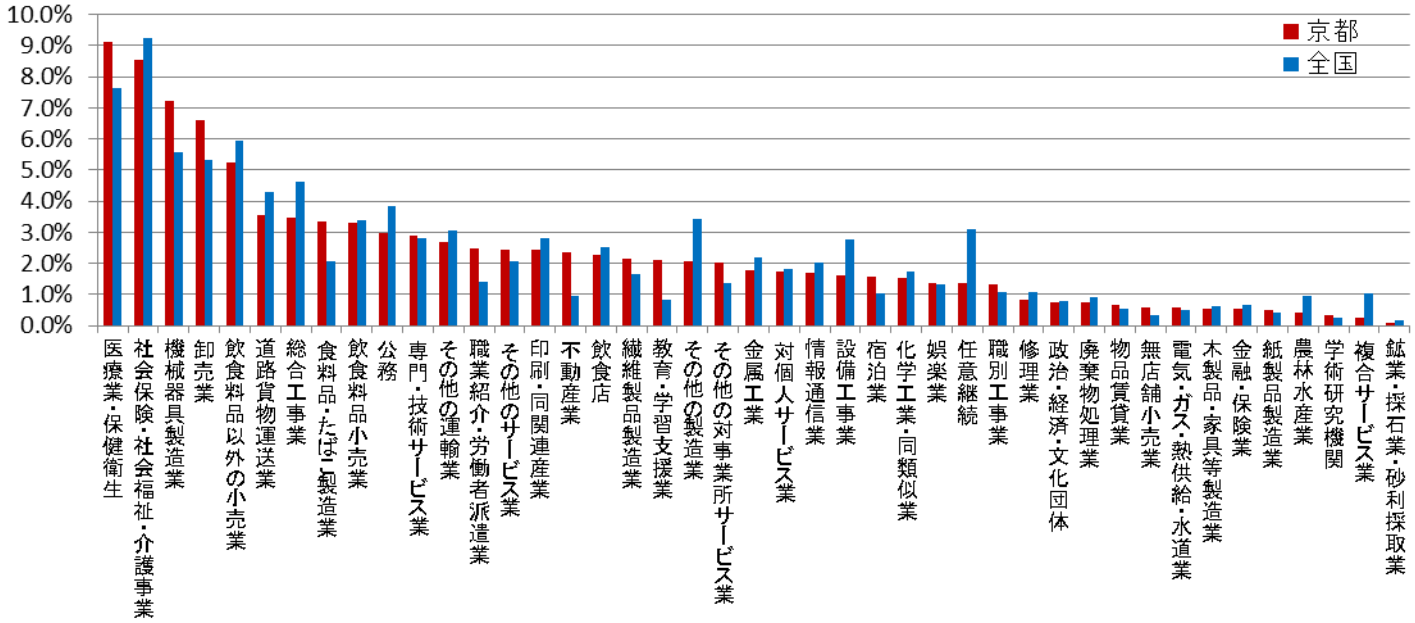
京都支部においては、男性は40～44歳、女性は45歳～49歳の割合が最も高くなっています。

平成30年度末現在



業態別被保険者割合（京都支部と全国の比較）

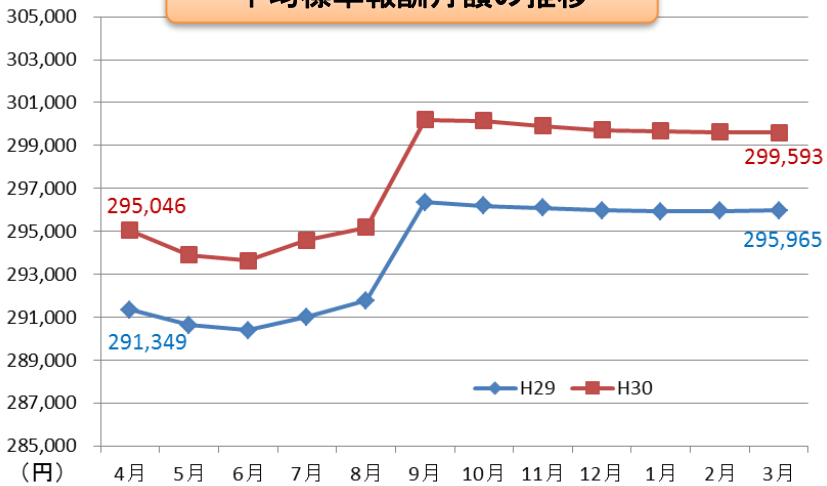
平成30年度末現在



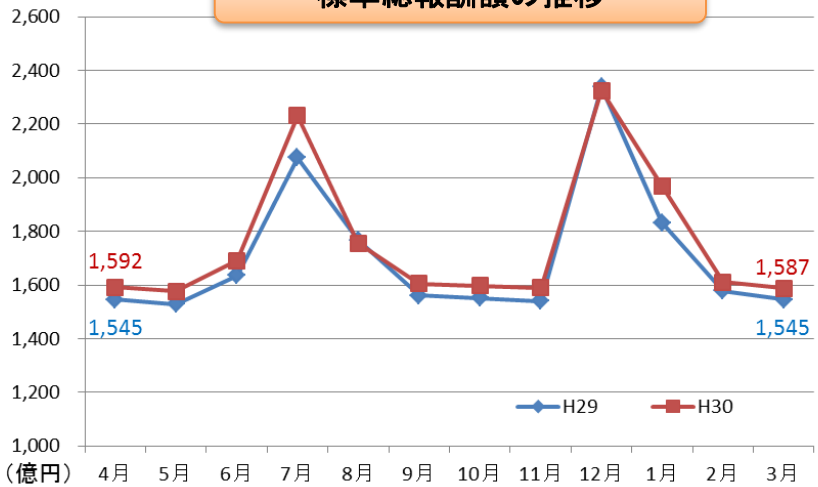
京都支部では、医療業・保健衛生の割合が最も高く、社会保険・社会福祉・介護事業、機械器具製造業、卸売業と続きます。
また、全国では、医療業・保健衛生と社会保険・社会福祉・介護事業の割合が高くなっています。

京都支部における標準報酬月額・標準総報酬額の状況（年度比較・全国比較）

平均標準報酬月額の推移

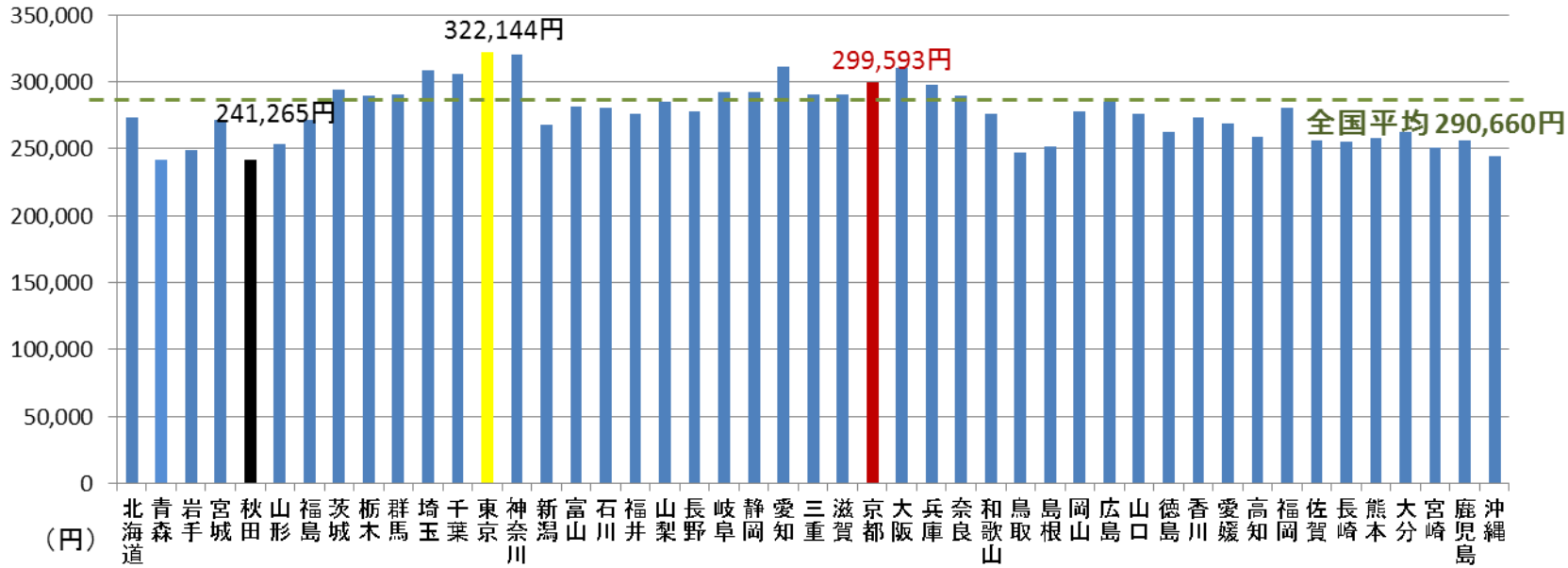


標準総報酬額の推移

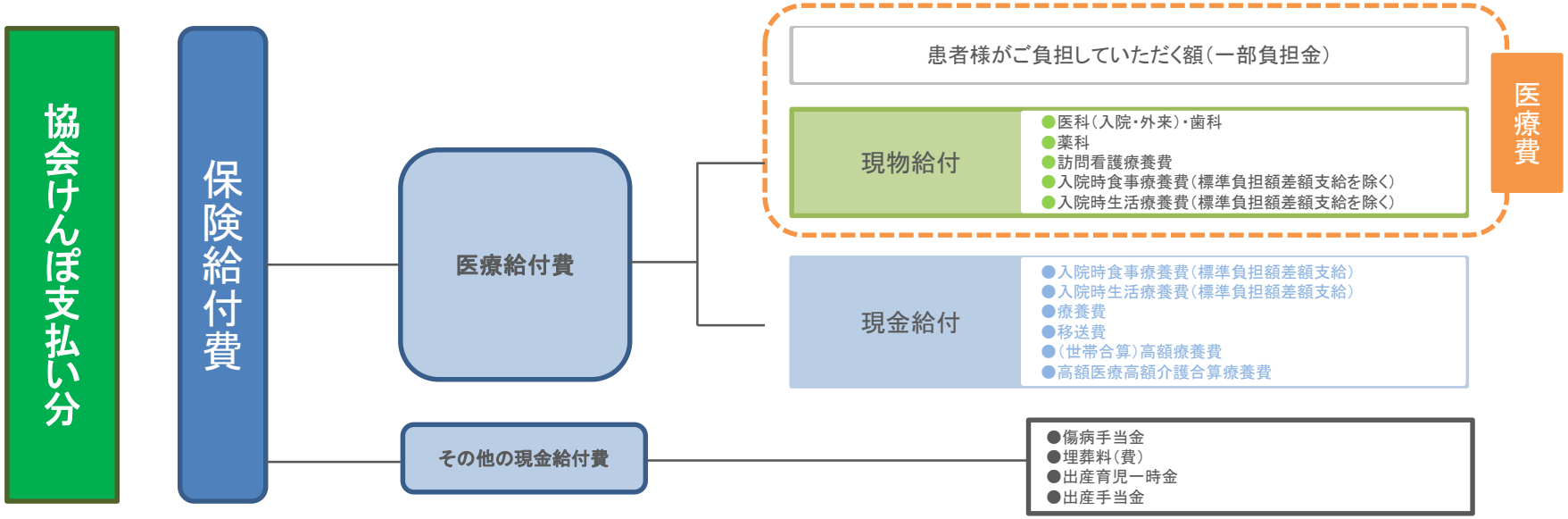


都道府県別の平均標準報酬月額

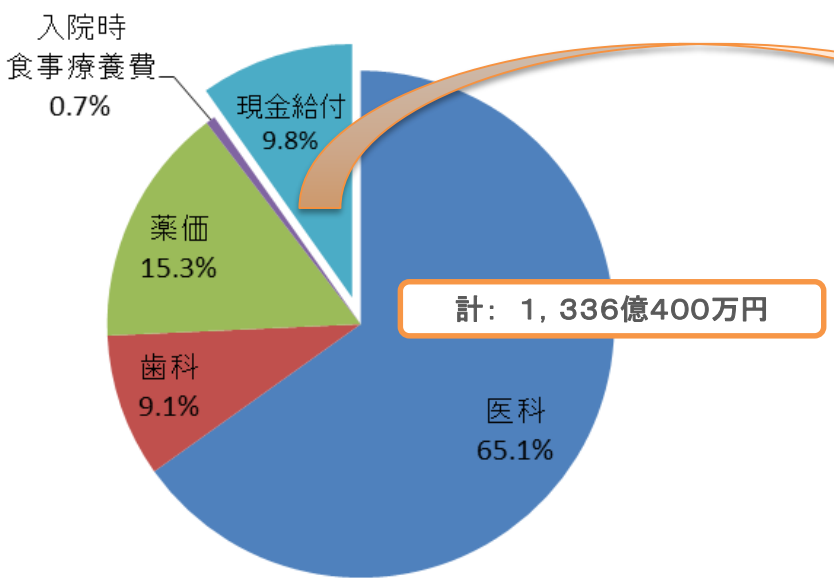
平成30年度末現在



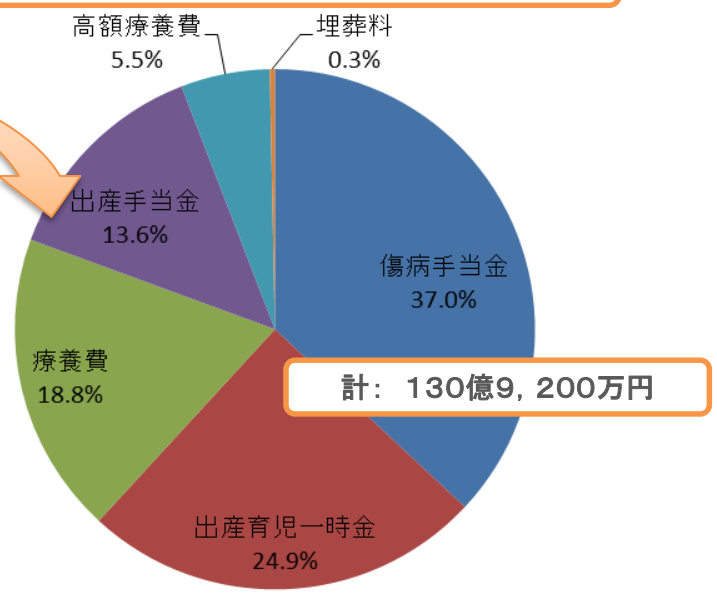
保険給付費（現物給付・現金給付費）の内訳



平成30年度　京都支部の保険給付費の内訳



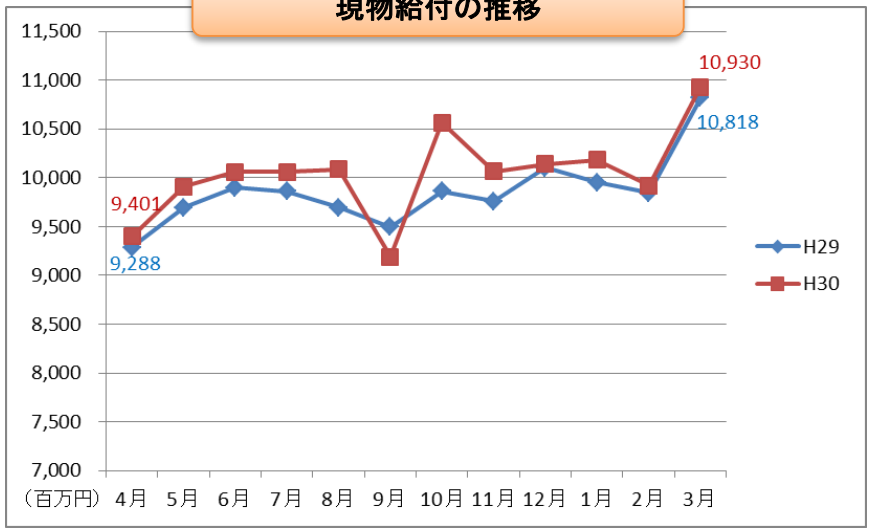
平成30年度　京都支部の現金給付費の内訳



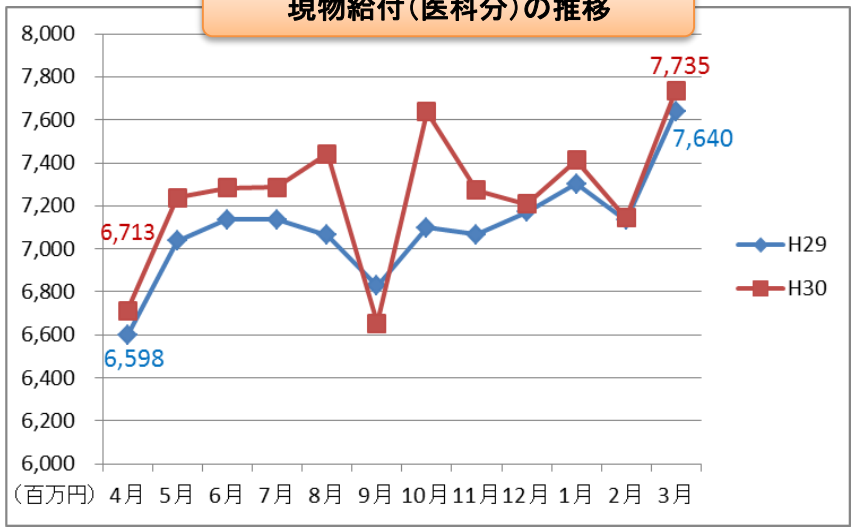
京都支部における現物給付の状況（年度比較・金額ベース）

健康保険の加入者の方が、病気やけがで医療機関にかかったとき、医療費の一部を負担することで、診療・治療などの医療サービス（現物）の給付が受けられます。これを現物給付といいます。現物給付費は、年々増加傾向にあります。

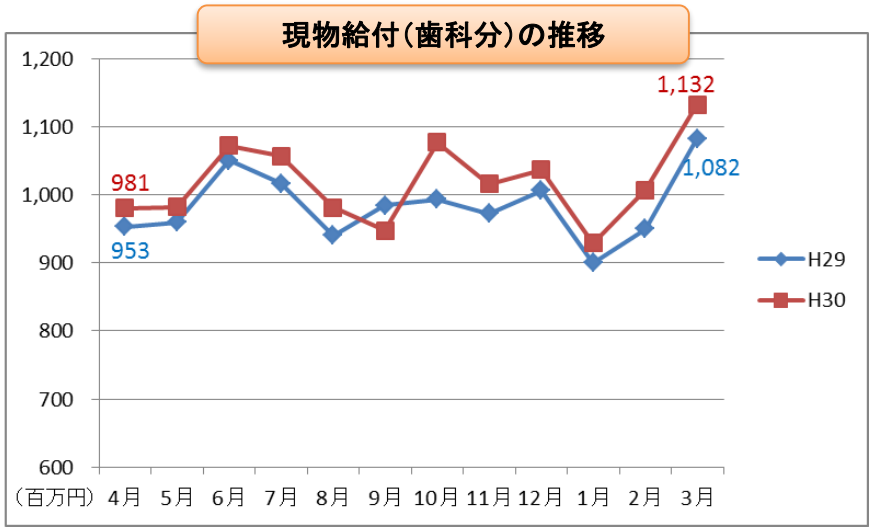
現物給付の推移



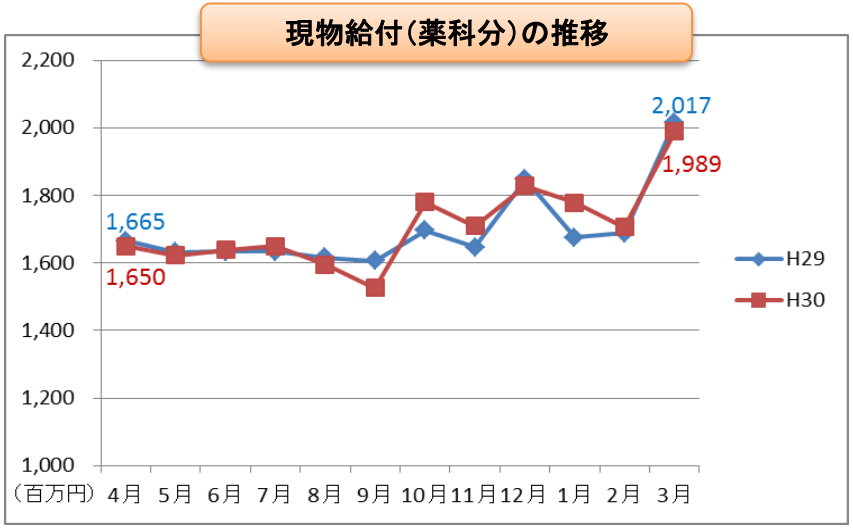
現物給付（医科分）の推移



現物給付（歯科分）の推移



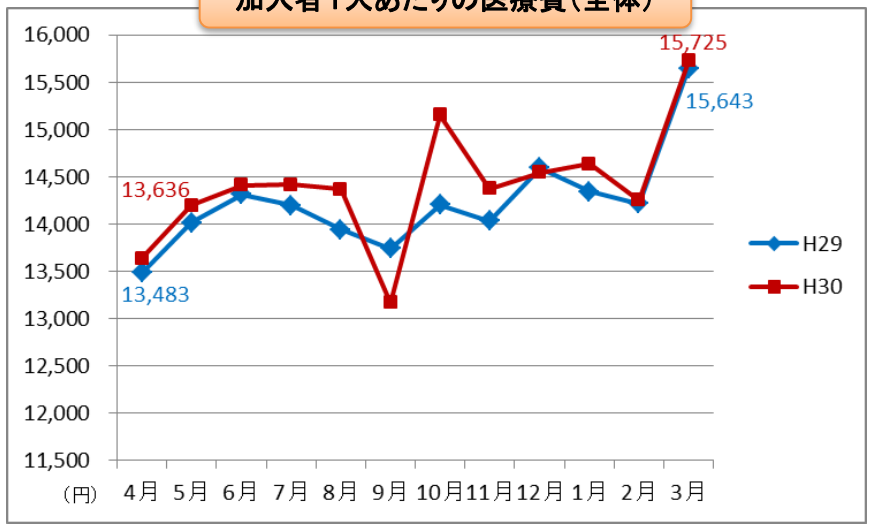
現物給付（薬科分）の推移



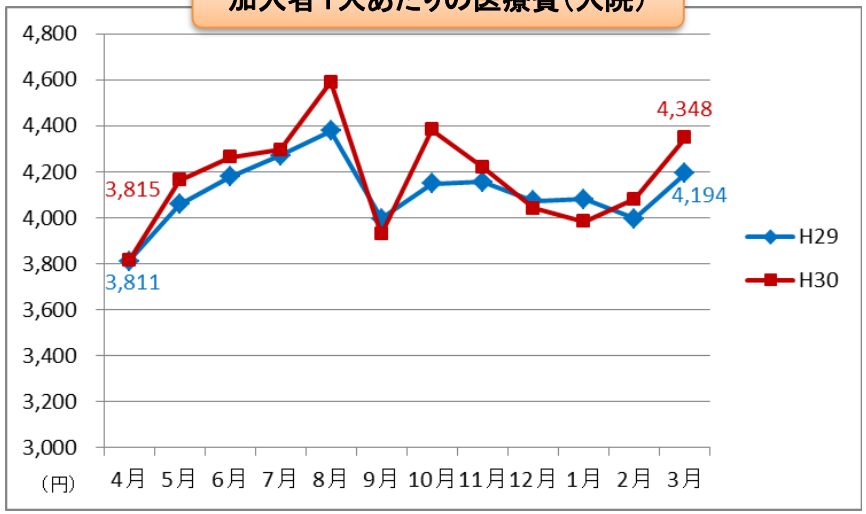
京都支部における加入者1人あたりの医療費（年度比較・金額ベース）

京都支部の加入者1人当たりの医療費は、すべての項目において前年度を上回っています。

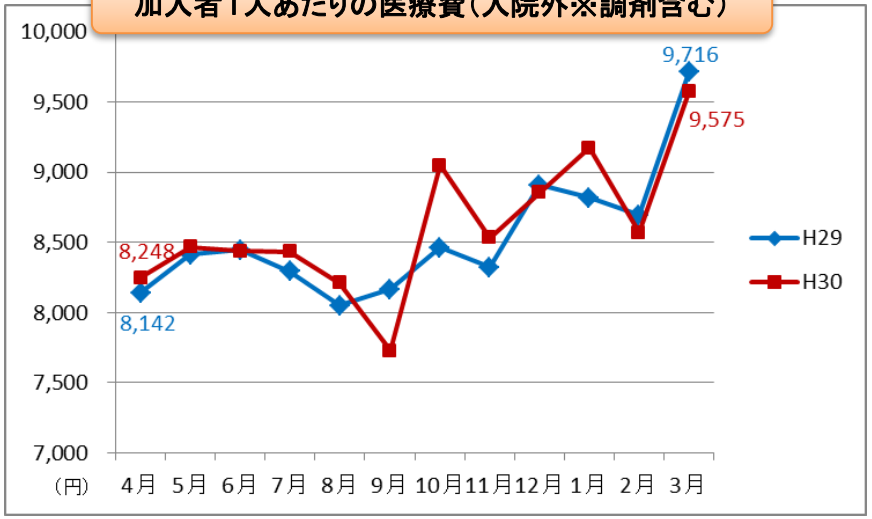
加入者1人あたりの医療費（全体）



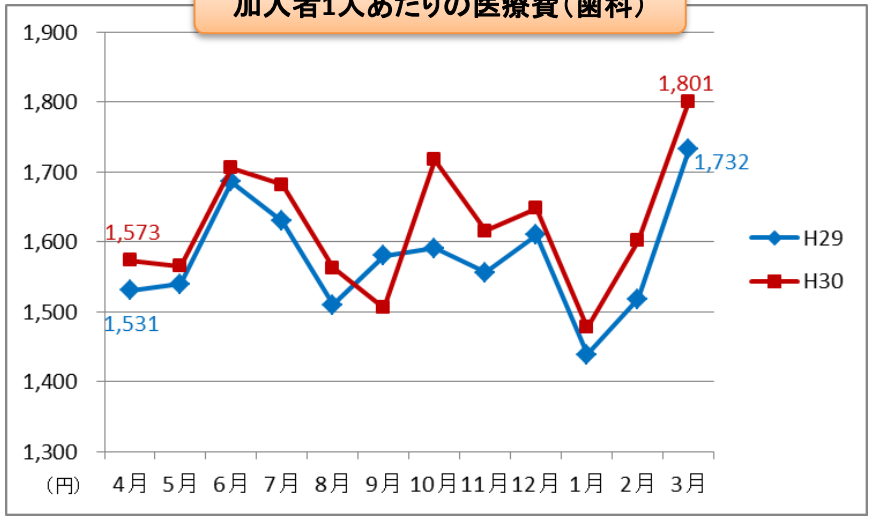
加入者1人あたりの医療費（入院）



加入者1人あたりの医療費（入院外※調剤含む）

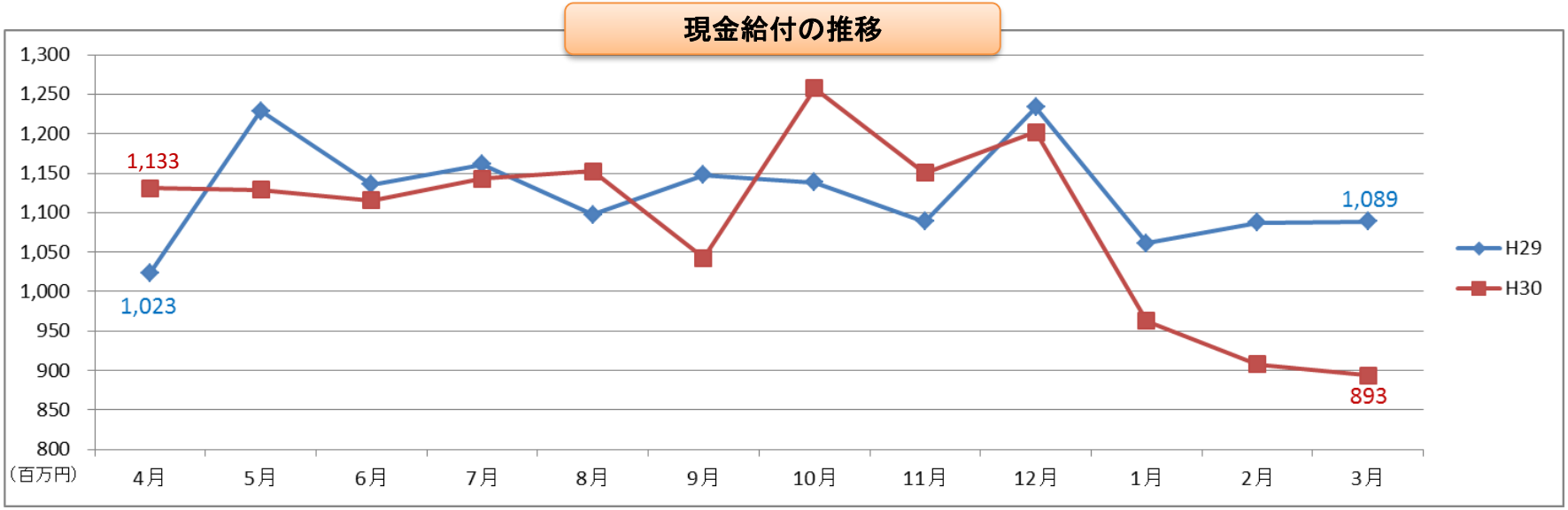


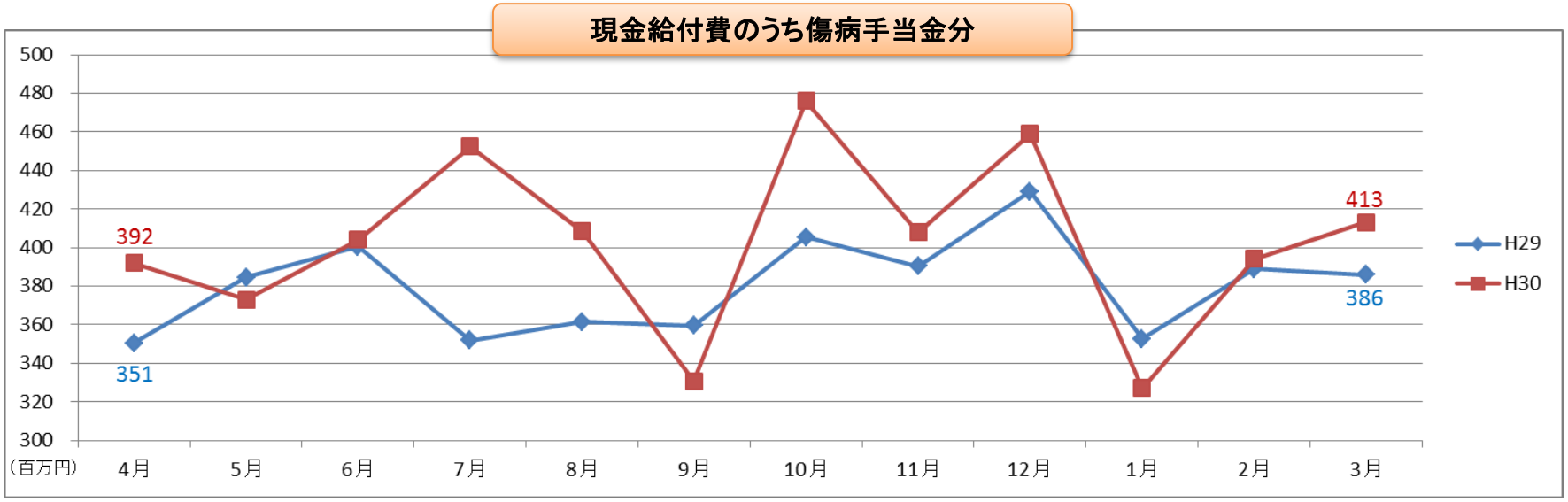
加入者1人あたりの医療費（歯科）



京都支部における現金給付費の状況（年度比較・金額ベース）

京都支部の現金給付の状況は前年度より減少していますが、その中では傷病手当金は増加しています。





生活習慣病予防健診・特定健康診査の健診実施状況（年度比較）

対象者	被保険者（35歳以上75歳未満の方）	被扶養者（40歳以上75歳未満の方）
健診	生活習慣病予防健診	特定健康診査
保健指導	協会けんぽもしくは医療機関・専門機関の保健師・管理栄養士が実施（無料）	府内の契約機関にて実施（一部受診者負担あり）（対象者には利用券を送付）

生活習慣病予防健診（被保険者）

（人）

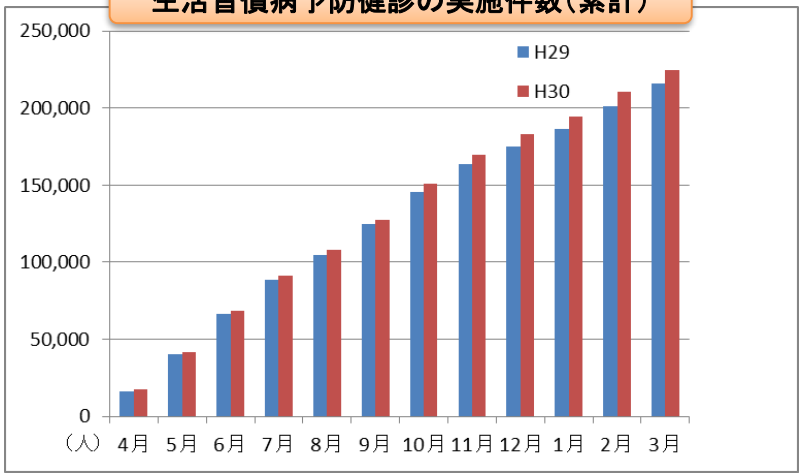
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
H29	16,454	23,537	26,790	21,999	15,821	19,835	21,075	17,834	11,345	11,397	14,814	14,738	215,639	4.2% ↗
H30	17,307	24,431	26,854	22,468	17,174	19,217	23,273	19,144	12,882	11,668	15,803	14,506	224,727	

特定健康診査（被扶養者）

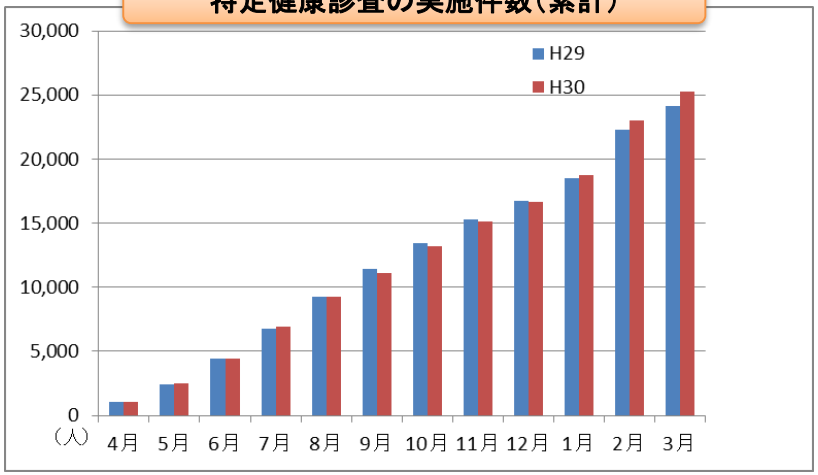
（人）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	対前年比
H29	1,037	1,392	1,979	2,332	2,483	2,186	2,006	1,886	1,407	1,773	3,841	1,793	24,115	4.7% ↗
H30	1,026	1,468	1,975	2,446	2,382	1,831	2,071	1,971	1,495	2,048	4,329	2,200	25,242	

生活習慣病予防健診の実施件数（累計）



特定健康診査の実施件数（累計）



特定保健指導について

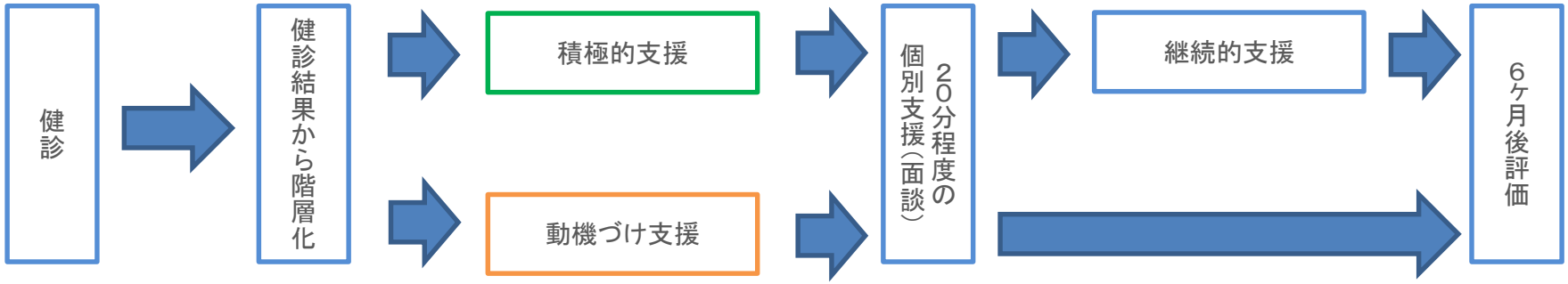
●特定保健指導とは？

生活習慣病予防健診の結果、メタボリックシンドロームの危険因子の数に応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導のことをいいます。『積極的支援』と『動機づけ支援』の2つのタイプの特定保健指導があります。

①積極的支援　（腹囲男性85cm・女性90cm以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が2つ以上ある方
（BMI25以上）　かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が3つ以上ある方
個別面談または、グループ学習で保健師等がご一緒に生活習慣の目標を設定した後、3～6ヶ月間継続的に、
個別面談・電話・メール・手紙・FAXなどにより、その実行をお手伝いいたします。

②動機付け支援　（腹囲男性85cm・女性90cm以上）かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧）の数が1つある方
（BMI25以上）　かつメタボリックシンドロームの危険因子（血糖・脂質・血圧・喫煙）の数が1つ～2つある方
原則として1回、個別面談または、グループ学習により、保健師等がご一緒に生活習慣を振り返り、ライフスタイルに合わせた生活習慣の目標の設定や実行をお手伝いいたします。

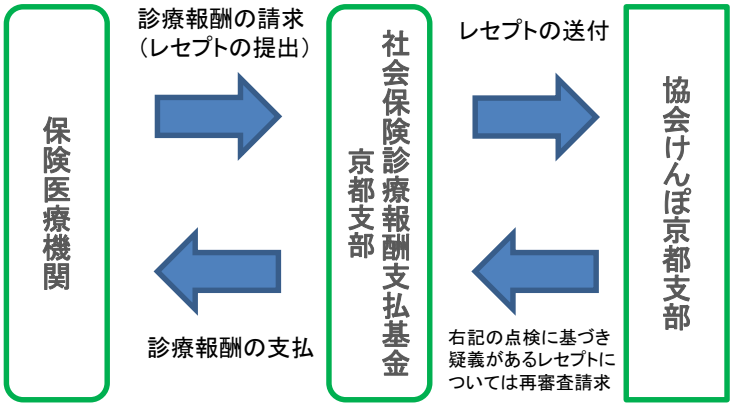
●特定保健指導の流れ



●特定保健指導の6ヶ月後評価実施状況

	積極的支援（実施率）	動機付け支援（実施率）	合計（実施率）
H29年度	1,219（5.6%）	1,615（10.0%）	2,834（7.5%）
H30年度	1,884（8.1%）	2,940（15.8%）	4,824（11.5%）

レセプト点検状況（年度比較）



資格点検
保険診療を受ける資格があるかどうか（資格喪失後でないか等）を点検
（オンラインによる請求前資格確認を、社会保険診療報酬支払基金にて
平成23年10月受付分から実施）

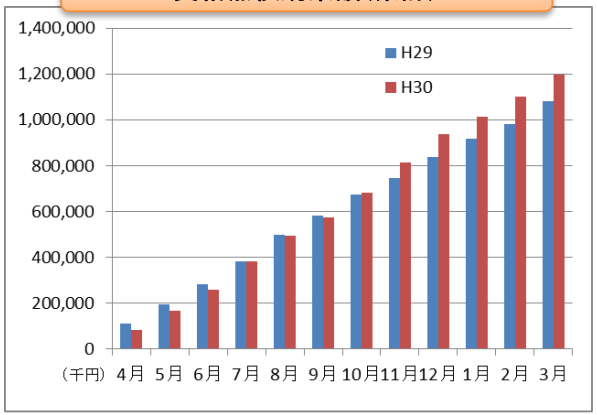
外傷点検
外傷（けが）などが業務上等の労災保険ではないか、第三者等の行為に
よるものでないか等について点検

内容点検
診療報酬明細書の内容に誤りがないかどうかを点検

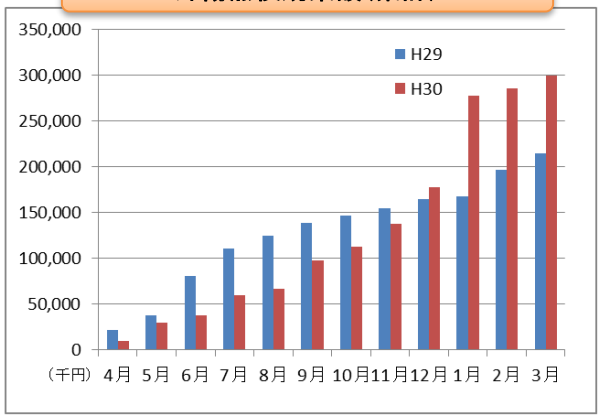
レセプト点検効果額（年度における各月の累計値）

項目	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	対前年比
資格点検（千円）	H29	111,401	195,322	281,596	382,841	496,745	583,310	672,653	746,461	837,463	918,451	982,928	1,080,260	90,022	10.9%
	H30	84,083	165,858	256,371	382,342	494,699	572,436	682,086	814,423	937,646	1,011,378	1,101,397	1,198,536	99,878	
外傷点検（千円）	H29	21,634	38,012	80,393	110,186	124,231	138,660	146,019	154,770	164,832	167,857	196,010	214,548	17,879	+39.8%
	H30	9,670	29,841	37,912	59,049	66,065	97,642	111,961	137,743	177,419	276,982	285,245	299,694	24,997	
内容点検（千円）	H29	14,729	35,464	56,014	75,815	96,275	123,130	160,063	191,526	211,602	233,802	254,292	271,019	22,585	−14.9%
	H30	14,166	39,305	59,574	87,439	103,010	125,847	145,960	160,757	175,781	194,918	213,142	230,554	19,213	

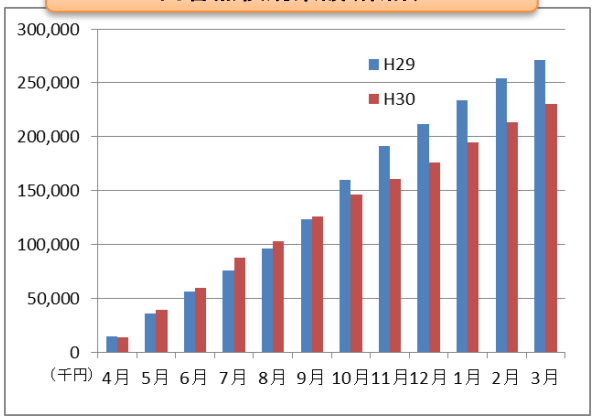
資格点検効果額（累計）



外傷点検効果額（累計）

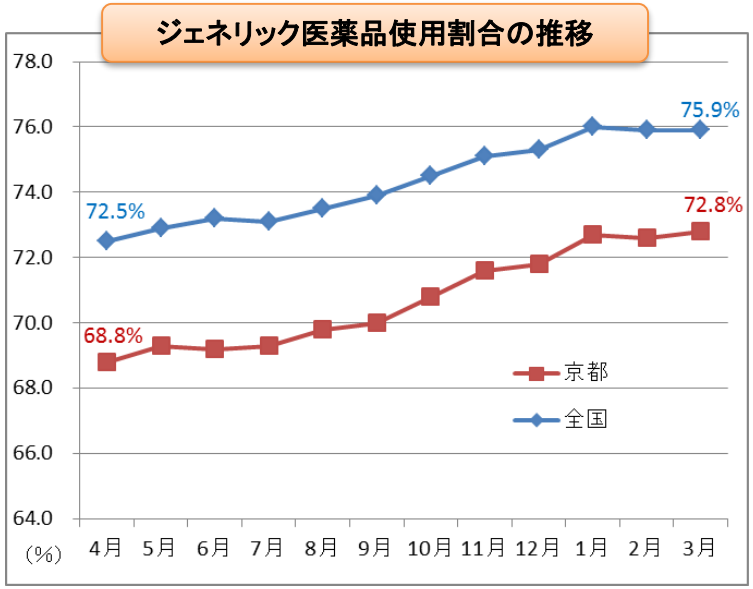


内容点検効果額（累計）

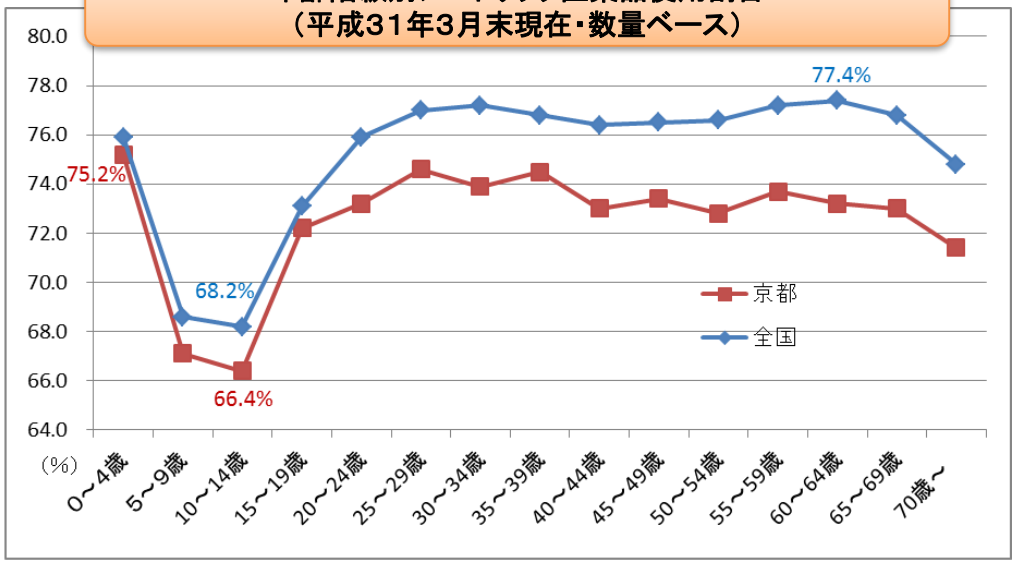


ジェネリック医薬品の使用状況（全国比較）

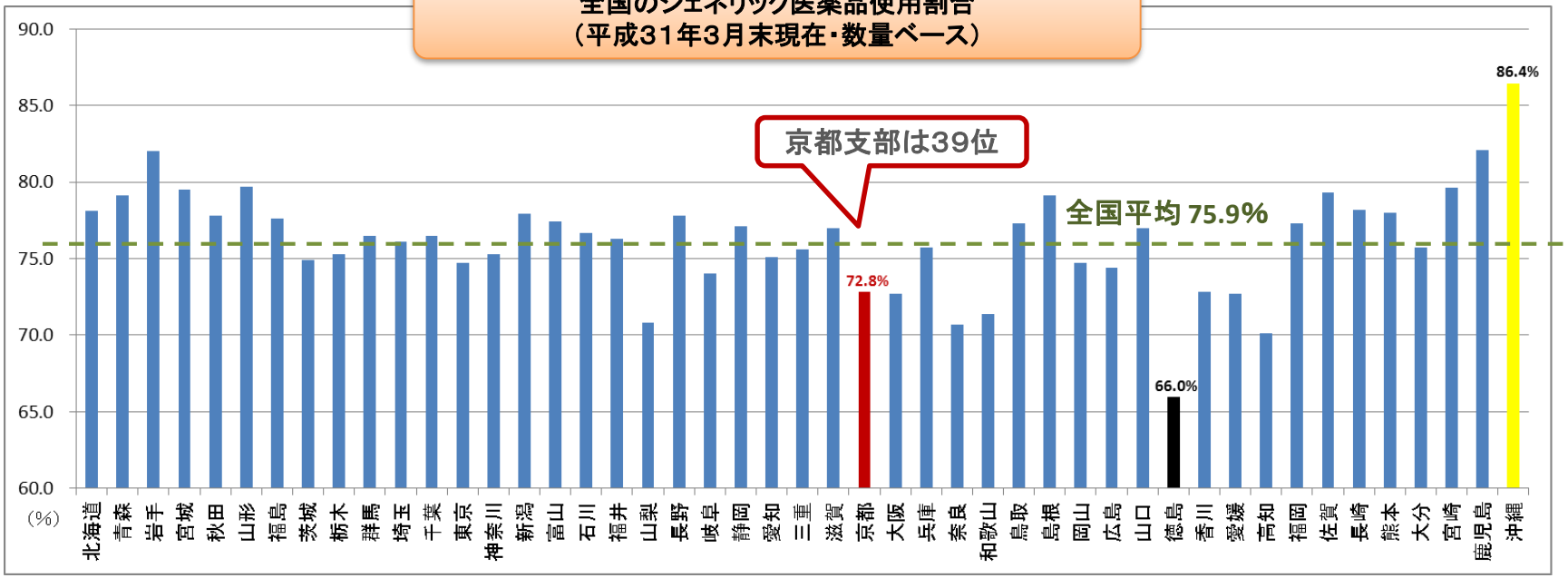
ジェネリック医薬品使用割合の推移



年齢階級別ジェネリック医薬品使用割合（平成31年3月末現在・数量ベース）



全国のジェネリック医薬品使用割合（平成31年3月末現在・数量ベース）



※協会けんぽ（一般分）の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。（ただし、電子レセプトに限る。）

平成30年度ジェネリック医薬品自己負担軽減額通知サービス

（1）負担軽減通知の対象

➜20歳以上の方
➜慢性疾患、生活習慣病などの先発医薬品を長期間服用されている方
➜対象診療月のレセプトを分析して、自己負担の軽減可能額が一定以上の方
・平成30年8月実施（1回目）　対象診療月・・・平成30年2、3、4月　軽減可能額・・・医科レセプト600円以上、調剤レセプト50円以上
・平成31年2月実施（2回目）　対象診療月・・・平成30年8、9、10月　軽減可能額・・・医科レセプト600円以上、調剤レセプト50円以上

（2）負担軽減通知効果額

	実施年月	通知人数	切替人数	切替割合	切替1人あたりの軽減効果額/月	1か月あたりの軽減効果額①	年間軽減効果額①×12（推計）
京都支部	平成30年8月	約7万8千人	約1万9千人	24．7%	1，461円	約2千8百万円	**約6億9，000万円**
	平成31年2月	約6万4千人	約1万8千人	27．6%	1，669円	約2千9百万円	
全　　国	平成30年8月	約371万人	約101万人	27．2%	1，444円	約14．6億円	**約329．8億円**
	平成31年2月	約298万人	約85万人	28．5%	1，521円	約12．9億円	

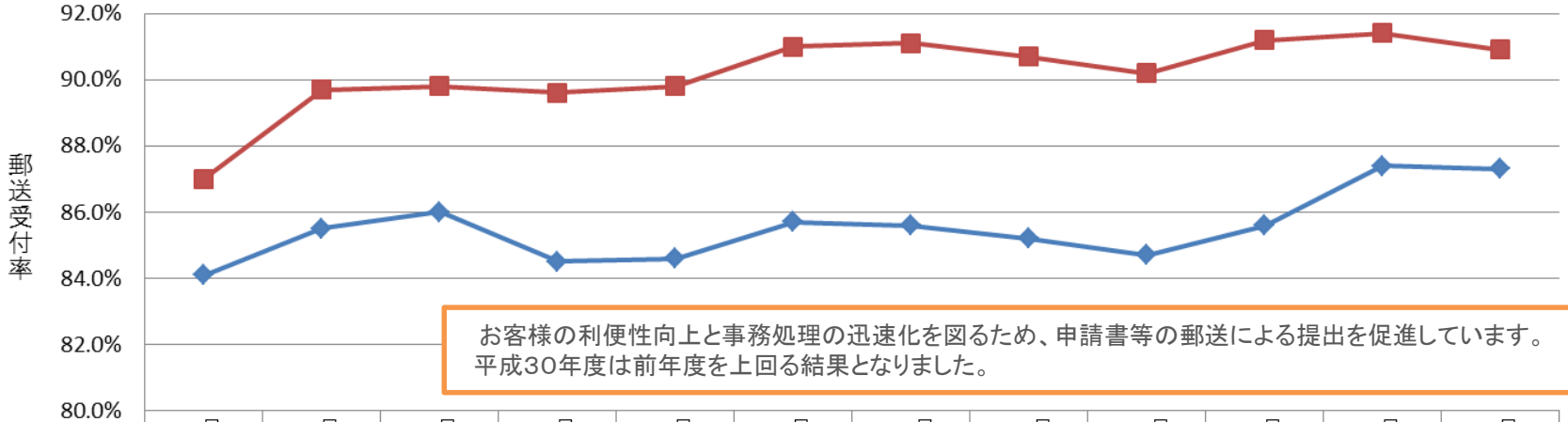
（3）京都支部の年齢階層別・負担軽減別の切替率

平成30年8月実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
20～24歳	13.1%	15.3%	17.9%	15.5%	20.9%	15.0%
25～29歳	14.5%	18.4%	18.9%	16.1%	19.6%	16.1%
30～34歳	16.0%	20.6%	21.3%	21.2%	20.0%	18.4%
35～39歳	15.8%	18.7%	17.8%	18.4%	22.4%	17.7%
40～44歳	16.7%	21.9%	18.3%	22.7%	24.5%	20.0%
45～49歳	19.5%	23.2%	23.6%	25.1%	24.0%	22.4%
50～54歳	22.2%	25.2%	29.3%	27.8%	24.8%	25.0%
55～59歳	24.8%	29.1%	27.1%	30.6%	27.0%	27.5%
60～64歳	30.2%	31.1%	29.2%	30.7%	28.4%	29.8%
65～69歳	30.9%	31.6%	34.9%	34.6%	28.3%	31.4%
70～74歳	31.0%	33.7%	31.3%	32.6%	29.5%	31.3%
合計	21.5%	25.5%	25.6%	27.7%	26.2%	24.7%

平成31年2月実施分	50円～299円	300円～399円	400円～499円	500円～999円	1000円以上	合計
20～24歳	16.7%	20.2%	18.2%	19.4%	22.0%	18.1%
25～29歳	17.9%	26.6%	21.6%	22.9%	22.0%	20.1%
30～34歳	20.9%	28.6%	24.5%	23.8%	23.2%	22.6%
35～39歳	22.0%	29.2%	26.4%	28.4%	26.7%	24.6%
40～44歳	24.6%	29.5%	24.6%	27.4%	28.0%	26.1%
45～49歳	24.4%	28.4%	30.2%	28.3%	26.0%	26.3%
50～54歳	29.0%	29.6%	31.3%	30.3%	26.6%	29.0%
55～59歳	28.1%	32.4%	32.3%	29.2%	27.1%	28.7%
60～64歳	30.6%	32.3%	30.4%	30.4%	27.3%	29.7%
65～69歳	33.6%	34.0%	34.5%	30.2%	29.1%	31.3%
70～74歳	33.0%	36.0%	32.9%	30.2%	28.3%	31.3%
合計	26.1%	30.8%	29.3%	28.8%	27.2%	27.6%

概ね年齢が高くなるほどジェネリック医薬品に切り替えされる方の割合が多くなる傾向があります。

京都支部　郵送受付率の推移（年度比較）

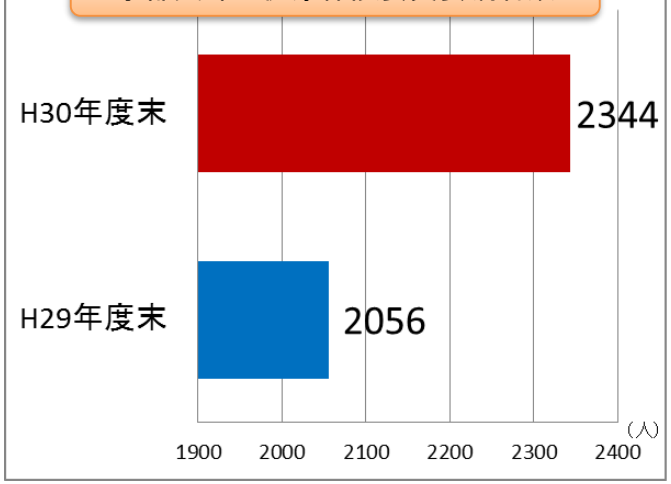


お客様の利便性向上と事務処理の迅速化を図るため、申請書等の郵送による提出を促進しています。
平成30年度は前年度を上回る結果となりました。

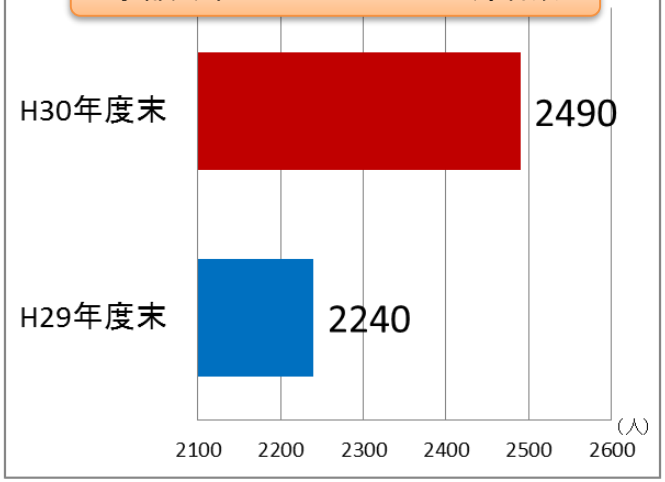
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H29	84.1%	85.5%	86.0%	84.5%	84.6%	85.7%	85.6%	85.2%	84.7%	85.6%	87.4%	87.3%
H30	87.0%	89.7%	89.8%	89.6%	89.8%	91.0%	91.1%	90.7%	90.2%	91.2%	91.4%	90.9%

京都支部における健康保険委員にかかる活動

京都支部の健康保険委員委嘱者数



京都支部のメールマガジン登録者数



健康保険委員とは
→広報・相談・健康保険事業の推進・モニター等にご協力いただく被保険者の方です。

〈活動強化に関する取組み（H30年度）〉
- 健康保険委員向け研修会の開催（年2回）
- 健康保険委員表彰
- 健康経営推進のための活動